



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3185 URL http://www.dreamv.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 濱中 真紀夫
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 田中 啓晴 (TEL) 072-761-9293
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,268	△22.2	△134	—	△142	—	△144	—
28年3月期第3四半期	2,916	—	△146	—	△163	—	△193	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △159百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △195百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△27.32	—
28年3月期第3四半期	△36.46	—

(注) 平成28年3月期第3四半期及び平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,268	△403	△31.8
28年3月期	1,309	△244	△18.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 △403百万円 28年3月期 △244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,124	△14.9	△160	—	△161	—	△164	—	△30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 南通佳尚服装有限公司

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	5,304,000株	28年3月期	5,304,000株
29年3月期3Q	一株	28年3月期	一株
29年3月期3Q	5,304,000株	28年3月期3Q	5,304,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成29年3月3日(金) 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向が継続し、国内景気は緩やかな回復基調で推移している一方、海外では米国大統領選の結果に伴う今後の展開や、韓国大統領の弾劾等による影響等先行きの不透明感は依然として払拭しきれない状況が続いております。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、同業他社や、他業態との競争激化が進む中、消費者の節約志向も依然として続いており、引き続き厳しい状況となっております。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、販売に関して、前連結会計年度後半より準備して参りましたかつてのボリュームゾーンであったトレンドミックス系ブランドの再編を平成28年3月より始動し、自社販売サイトの全面リニューアルや展示会の開催、WEB広告の強化、大型の雑誌広告掲載等の各種施策も実施しております。これらの施策の効果は、新規流入顧客数の少ない自社販売サイトでは想定通りの回復には至ってはおりませんが、一般顧客の多いモール系店舗(楽天市場、ZOZO TOWN、Shop List等)で先行して表われてきております。

仕入に関しては、秋冬物の商品について、仕入コストの削減、粗利率の向上を図るため、直接輸入を実施する等、仕入方法の見直しを行いました。

また、平成27年3月31日より、健康コーポレーション株式会社(現 RIZAPグループ株式会社)の子会社として同社グループに参画しており、グループ間シナジーを最大限に発揮するべく、グループ会社との協業活動も開始しており、コスト削減・販路拡大に関する取り組みやノウハウなどの有効活用のための人材交流等を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績につきましては、45百万円の営業黒字を達成することができました。しかしながら、上半期までの営業赤字を払拭するにはいたらず、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,268百万円(前年同四半期比22.2%減)、営業損失は134百万円(前年同四半期は営業損失146百万円)、経常損失は142百万円(前年同四半期は経常損失163百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は144百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失193百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、かつてのボリュームゾーンであったトレンドミックス系ブランドの再編を平成28年3月より始動し、自社販売サイトの全面リニューアルや展示会の開催、WEB広告の強化、大型の雑誌広告掲載等の各種施策も実施しており、MD部門の強化によるブランド管理の徹底や、新たなチャネルへの出店等、引き続き抜本的な改革に取り組んでおります。これらの施策の効果は、一般顧客の多いモール系店舗で先行して表れているものの、新規流入顧客数の少ない自社販売サイトにおきましては想定どおりの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の衣料品販売事業の売上高は1,335百万円(前年同四半期比20.5%減)、営業損失は0百万円(前年同四半期は営業利益277百万円)となりました。

(玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化を受け、依然として厳しい環境にあり、主要取引先への販売も伸び悩んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の玩具・雑貨販売事業の売上高は545百万円(前年同四半期比35.9%減)、営業利益は14百万円(前年同四半期比42.5%減)となりました。

(実店舗事業)

実店舗事業におきましては、お客様が当社衣料品を試着して購入できる機会が増え、衣料品販売事業での売上拡大及び夢展望の知名度向上にも繋がるため、出店しております。秋冬物の仕入方法の見直しによる粗利率の向上、不採算店舗の閉鎖等により、赤字削減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の実店舗事業の売上高は105百万円（前年同四半期比59.0%減）、営業損失は15百万円（前年同四半期は営業損失50百万円）となりました。

（卸売事業）

卸売事業におきましては、当社衣料品等の販売網拡大のため、WEB広告、大型の雑誌広告掲載等の各種施策を実施して当社商品の認知度向上を図り、他社インターネットモール向け販売を強化するとともに秋冬物の仕入方法の見直しによる粗利率の向上を計りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の卸売事業の売上高は263百万円（前年同四半期比116.9%増）、営業利益は22百万円（前年同四半期は営業損失51百万円）となりました。

（その他事業）

その他事業では、メーカーや小売事業者向けの広告販売事業、衣料品販売事業の補完事業として、コンタクトレンズ販売事業、健康食品販売事業、各種コンサルティング事業等を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上高は18百万円（前年同四半期比166.7%増）、営業利益は16百万円（前年同四半期比489.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、1,205百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が164百万円増加したものの、現金及び預金が195百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて26百万円減少し、62百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が4百万円、無形固定資産が8百万円増加したものの、投資その他の資産が40百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、1,268百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて180百万円増加し、1,441百万円となりました。この主な要因は、買掛金が33百万円、短期借入金が121百万円減少したものの、関係会社短期借入金が300百万円、未払金が29百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、231百万円となりました。この主な要因は、長期借入金60百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、1,672百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて159百万円減少して△403百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を144百万円計上したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月14日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった南通佳尚服装有限公司は、平成28年1月7日に清算が終了致しました。これにより連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ250千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が見受けられません。

当該状況を改善・解消すべく、平成27年3月に参入した健康コーポレーション株式会社（現RIZAPグループ株式会社 以下「RIZAPグループ」といいます。）との間に進めてきた人材交流等による新体制のもと、前連結会計年度より抜本的な改革を開始し、現在はその改革を推し進めている最中であります。

具体的には、ブランド戦略、MD、商品企画、販売戦略、広告戦略、コスト構造などあらゆる観点において見直しを行い、トレンドミックス系ブランドの再編及びそれに基づくMD体制・商品企画体制の強化、販売サイトの顧客サービスの強化、SNS等を活用した集客力の強化、物流倉庫施設の移転も完了した事に伴う、物流業務の効率化、その他各種施策による販売費及び一般管理費の圧縮等を進めており、引き続き、業績回復に向けた利益体質への転換を図ってまいります。

これらの施策を引き続き実施していくことにより、営業利益および営業キャッシュ・フローの黒字化を図ってまいります。

資金面に関しましては、取引金融機関に対して継続的な支援が得られるような良好な関係を築き、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。また、必要に応じて親会社であるRIZAPグループから資金的な援助が受けられるよう親会社との良好な関係を維持していく予定であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	599,743	403,954
受取手形及び売掛金	223,953	388,703
商品及び製品	352,824	364,191
貯蔵品	2,342	1,896
その他	41,570	47,289
貸倒引当金	△25	△57
流動資産合計	1,220,409	1,205,977
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	—	4,750
工具、器具及び備品(純額)	1,519	1,131
有形固定資産合計	1,519	5,881
無形固定資産		
ソフトウェア	133	9,049
無形固定資産合計	133	9,049
投資その他の資産		
その他	87,864	47,645
投資その他の資産合計	87,864	47,645
固定資産合計	89,517	62,577
資産合計	1,309,926	1,268,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,861	177,847
短期借入金	800,600	679,518
関係会社短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
リース債務	459	—
未払金	135,954	165,742
未払法人税等	8,767	9,689
ポイント引当金	5,416	805
賞与引当金	6,170	5,064
返品調整引当金	410	1,565
その他	12,183	20,942
流動負債合計	1,260,822	1,441,175
固定負債		
長期借入金	280,000	220,000
長期末払金	13,651	11,288
固定負債合計	293,651	231,288
負債合計	1,554,474	1,672,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	121,894	121,894
利益剰余金	△493,069	△637,983
株主資本合計	△271,175	△416,089
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,627	12,180
その他の包括利益累計額合計	26,627	12,180
純資産合計	△244,547	△403,908
負債純資産合計	1,309,926	1,268,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,916,901	2,268,165
売上原価	1,663,878	1,388,015
売上総利益	1,253,023	880,150
返品調整引当金戻入額	1,101	410
返品調整引当金繰入額	1,096	1,565
差引売上総利益	1,253,029	878,995
販売費及び一般管理費	1,399,720	1,013,090
営業損失(△)	△146,691	△134,095
営業外収益		
受取利息	1,564	1,011
為替差益	554	—
受取損害賠償金	267	—
補助金収入	—	6,640
その他	405	764
営業外収益合計	2,792	8,416
営業外費用		
支払利息	14,896	9,289
為替差損	—	324
シンジケートローン手数料	2,300	5,541
その他	2,591	1,501
営業外費用合計	19,787	16,656
経常損失(△)	△163,686	△142,335
特別損失		
固定資産除却損	23,157	34
特別損失合計	23,157	34
税金等調整前四半期純損失(△)	△186,843	△142,369
法人税、住民税及び事業税	6,544	2,544
法人税等合計	6,544	2,544
四半期純損失(△)	△193,388	△144,914
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△193,388	△144,914

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△193,388	△144,914
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,325	△14,446
その他の包括利益合計	△2,325	△14,446
四半期包括利益	△195,713	△159,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,713	△159,360
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年2月12日の取締役会において、平成27年3月30日開催の臨時株主総会に「資本金の額の減少の件」及び「資本準備金の額の減少の件」について付議することを決議し、当該臨時株主総会において承認可決され、平成27年5月2日にその効力が発生しております。

資本金の減少額	866,585,000円
---------	--------------

資本準備金の減少額	804,960,000円
-----------	--------------

また平成27年6月29日開催の定時株主総会において、「剰余金の処分の件」について付議し、当該定時株主総会において承認可決され、剰余金を処分し、その他資本剰余金で繰越欠損を補填しております。

その他資本剰余金の減少額	1,549,650,519円
--------------	----------------

繰越利益剰余金の増加額	1,549,650,519円
-------------	----------------

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	実店舗事業	卸売事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,680,310	851,718	256,692	121,302	6,877	2,916,901	—	2,916,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,680,310	851,718	256,692	121,302	6,877	2,916,901	—	2,916,901
セグメント利益 又は損失(△)	277,741	25,280	△50,386	△51,452	2,870	204,053	△350,745	△146,691

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用350,745千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	実店舗事業	卸売事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,335,806	545,727	105,235	263,052	18,344	2,268,165	—	2,268,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,335,806	545,727	105,235	263,052	18,344	2,268,165	—	2,268,165
セグメント利益 又は損失(△)	△792	14,525	△15,912	22,518	16,916	37,255	△171,350	△134,095

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用171,350千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より企業戦略の明確化及び収益構造の可視化を行う事を目的とし、「衣料品販売事業」、「玩具・雑貨販売事業」、「実店舗事業」、「卸売事業」及び「その他事業」に配分していた全社費用をセグメント調整額に一括して掲記する方法に変更いたしました。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費等であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。